



## 2007年3月27日 307 操舵補助装置の不具合

[トップページ](#) > 
 [アフターサービス一覧](#) > 
 リコール関連情報 > 
 2007年3月27日 307 操舵補助装置の不具合


- 2007年3月27日 307 操舵補助装置の不具合 >
- 2007年3月8日 407 電動機油圧装置の不具合 >

## リコール対象車の主要選元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))
プジョー	GF-T5	307XT	普通・乗用	箱型	RFN (1,997cc)
		307Xsi			
		307XS			
	GH-TSRFN	307XT	普通・乗用	箱型	RFN (1,997cc)
		307Xsi			
		307XS			
	GH-3EHRFN	307XS ブレーク	普通・乗用	ステーションワゴン	RFN (1,997cc)
		307SW			
	GF-T5NFU	307 スタイル	普通・乗用	箱型	NFU(1,587cc)
GH-T5NFU	307 スタイルブレーク				
GH-3EHNFU					
GH-A307CC	307CC プレミアム	普通・乗用	轎型	RFN (1,997cc)	
GH-M307CC	307CC S16			RFK (1,997cc)	

## リコール届出一覧表

リコール届出日 平成19年3月27日

リコール開始日 平成19年3月28日

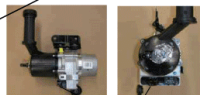
リコール届出番号	外-1393		
届出者の氏名又は名称	プジョー・シャボン株式会社 代表取締役 ディエリー ポワラ (製作国フランス共和国) (製作車名 オートモデル プジョー) (問い合わせ先 0120-840-240)		
不具合部位(部品名)	操舵補助装置 (パワーステアリング電動油圧ポンプ)		
基準不適合状態であると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	パワーステアリングの電動油圧ポンプの電源コネクターの防水構造が不適切なため、コネクタ部に雨水等が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、端子が錆びてショートし、最悪の場合、火災に至るおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該コネクタ部にグリスを充填し、防水性を改善する。また、端子が腐食している場合は、電動油圧ポンプ及び電気配線を新品と交換する。		
不具合件数	2件	事故の有無	2件(火災2件)
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知するための措置	使用者 ダイレクトメールにて通知する。 自動車分解整備事業者 日笠運送行の機関誌に掲載する。 対策実施済車両 対策実施済車両には、運転者側ドア開口部のドアロックストライカー付近に、外-1393のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車両番号(シリアル番号)の範囲及び輸入範囲	リコール対象車の台数	
プジョー	GF-T5 GH-TSRFN	307XT	VF33CRFN82052197~VF33CRFN83105191 平成13年6月2日~平成15年6月14日	514台	
		307Xsi	VF33CRFN82035001~VF33CRFN83164780 平成13年6月1日~平成15年9月8日	1298台	
	GF-T5 GH-TSRFN	307XS	VF33CRFN82032196~VF33CRFN83169929 平成13年7月19日~平成15年9月8日	3907台	
		GH-3EHRFN	307XS ブレーク	VF33ERFN82362109~VF33ERFN83178127 平成14年4月9日~平成15年9月29日	724台
	GH-3EHRFN	307SW	VF33HRFN82363699~VF33HRFN83177848 平成14年4月26日~平成15年9月29日	3599台	
	GF-T5NFU GH-T5NFU	307 スタイル	VF33CNFU82104789~VF33CNFU83171745 平成13年9月20日~平成15年9月29日	1977台	
		GH-3EHNFU	307 スタイルブレーク	VF33ENFU82362110~VF33ENFU83171059 平成14年2月9日~平成15年9月8日	676台
	GH-A307CC	307CC プレミアム	VF33BRFN83024376~VF33BRFN83024378 平成15年7月29日~平成15年9月29日	3台	
	GH-M307CC	307CC S16	VF33BRFK83046964 平成15年10月10日	1台	
	合計	計8型式	計9車種	(輸入期間の全体の範囲) 平成13年6月1日~平成15年10月10日	12699台

## 改善箇所説明図

注:  内は関連する部品を示す

電動油圧ポンプ



電源コネクタ

## 不具合発生箇所

パワーステアリングの電動油圧ポンプの電源コネクターの防水構造が不適切なため、コネクタ部に雨水等が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、端子が錆びてショートし、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

## 改善内容

全車両、当該コネクタ部にグリスを充填し、防水性を改善する。また、端子が腐食している場合は、電動油圧ポンプ及び電気配線を新品と交換する。

## 識別表示

対策実施済車両には、油圧ポンプのリザーバタンク下面に黄色ペイントを塗布する。